

# 進路指導室へようこそ

令和5年度 MJ 進路通信 第24号

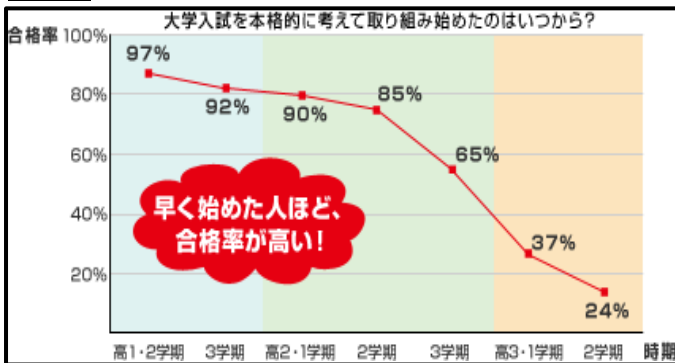
前橋女子高校進路指導部

令和5年11月2日(木)発行

## ■ 11月の模試の意味

11月になりました。週末の連休には各学年とも校外模試が予定されています。11月の模試は1学期の模試の反省を踏まえた軌道修正ができたかどうかを確認するという大切な目的があり、当然その軌道修正の度合いによって7月の模試から大きく成績が変動する、という性質があります。そろそろ来年度に向けての意識をしていく時期。今回の模試をそのための起爆剤として活用したいものです。1・2年生はまずデジタルサービスに目標点と志望校を登録し、1学期にどんな課題を抱えていたか(そしてその課題は克服できているか)を振り返ってみましょう。

### 1年生

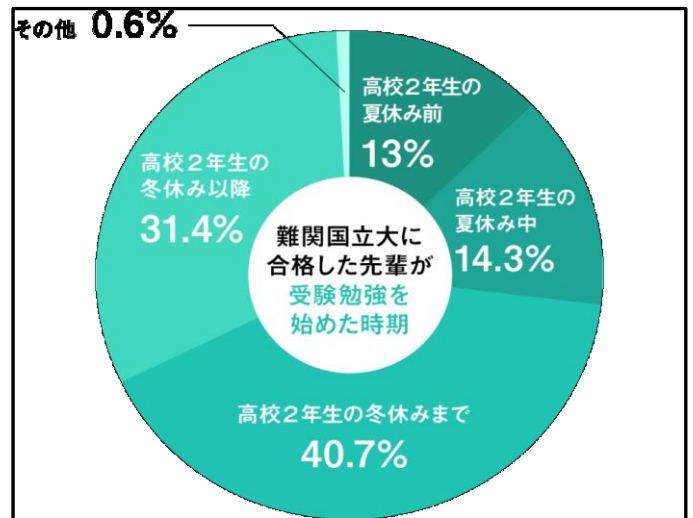


9月に実施した進路講演会での話を覚えていますか? 1年生の7月から11月は成績が大きく変動する時期です。主に中学校の内容が中心だった7月模試と比べ、高校に入ってから学習の成果が問われるのが今回の模試です。7月は数学にやや課題を抱えているという指摘がありました。今回の模試で挽回したいですね。上の表から分かるように早めに受験を意識して日頃の学習に活かしている人は当然受験での成功率は上がります。今のうちからしっかり模試に向き合う学習スタイルを確立しておきましょう。

### 2年生

今回の模試からいよいよ5教科型の受験になります。「英数国もままならないのに理社(情)なんて」と不安を感じる人も多いと思いますが、基本的なスタンスは変わりません。まず英数国の柱をしっかり強くする、という目標は変えずに、そこからちょっとずつ理社のウエイトを上げていけばよいのです。当然今まで以上に学習の

バランスの工夫が求められますが最初はどうもいかなくてもいいのです。これから自分は何の教科(分野)に力を注ぐべきなのかよく考える機会にしましょう。修学旅行が間近に迫り学習に対するモチベーション維持が難しい時期ですが、例年修学旅行を境にピシッと切り替えられるのが前女生です。修学旅行後はもう「3年0学期の始まり」と腹をくくって学習に取り組めるようにしたい。



### 3年生

記述型の全国模試が終了し、残すはマーク模試のみとなりました。これから2次試験までの間、自分の客観的な実力を測るものさしがなくなるというのは不安もあるとは思いますが、だからこそここではっきり伝えたいのは「これからの時期こそ抜け駆けの大チャンス、大逆転の大チャンスである」ということ。これからは周りとの比較を気にすることなく自分の学習に専念できるわけですから、周りの隙について正々堂々と「抜け駆け大作戦」を実行しよう。

とはいえ、精神的にも不安定になりがちな時期でもあります。努力しても成果が現れない焦りから、つい弱気になったり投げやりな気持ちになったりしていませんか(まさか家族に八つ当たりなんてしてないですよね)。不安や焦りは皆一緒。こんな時こそ人に優しく接して徳を積みましょう。生活リズムを整え Ca と VitaminC (ミカン?)をたっぷり摂取して心穏やかに過ごしましょう。

11月の重みを十分理解して、願掛けしながら決意を新たにしませんか。「受験が終わるまで〇〇は封印」など我慢事を決めて、強い決意で今月を過ごしましょう。

## ■卒業生からのメッセージ

大学もようやく(?)夏休みが終わり、10月から後期の授業が始まった、というところが多いようです。大学の授業や生活にもかなり慣れてきたチームOGの先輩から、大学での様子をレポートしてもらいました。有難いことに超大作だったので、今回は「前編」です。

### ～東京農工大学1年 Sさん～

後輩の皆さん、こんにちは。昨年まで皆さんと同じ前女生だった卒業生で、現在東京農工大学農学部地域生態システム学科1年のSです。

もうすぐ11月ですね!!2学期が始まって大分たちますが、少しでも後輩の皆さんのお役に立てたらと思います、この文を書いています。私からは、主に大学生活について、この時期の学習で意識していたことをお伝えできたらと思います!息抜き代わりにてきとうに読んでくれたらうれしいです。

#### 1. 授業について

私が所属している学科は、地域生態システム学科というところ。なんと分かりづらい名前ですが、端的に言うと、農工大農学部の中で一番学ぶことの選択肢が多い学科で、物理系から生物系、人文社会系の科目まで、幅広く学ぶことができます。1年時は教養科目などが中心で、2年前期から後期にかけて、森林科学プログラム、農業環境工学プログラム、生態系保全プログラム、共生持続社会プログラムの中から一つを選び、2年後期以降は主にそれに沿って科目を履修していくという特徴的な学科になっています(それに加えて他プログラムの科目も履修することはできます)。学びたいことが決まっている人はもちろんですが、なんとなく環境系とか農学系が気になるけどはっきりやりたいことが決まっていない、という人にもぴったりの学科だと思います。

ここで、参考までに私の後期の時間割を紹介します。

(右段の表参照)

私の後期の時間割はなんと頭のおかしいハードな組み合わせ方をしている、興味のある授業をとりまくり+教職課程をとった結果こうなりました。これに加えて野生動物保護管理に関する集中講義もいくつか履修しています。同じ学科で私よりたくさんの授業をとっている人には会ったことがないです(笑)。みんながみんなこんなに忙しいわけではないので安心してください。物理系も生物系も、基本的にどの授業もとても興味深くて大好きなのですが、とくに私が気に入っている授業は、「International

Cooperation Studies」です。この授業は一言で言うと国際協力について学ぶ授業ですが、全時間英語で開講され、クラスの3分の2くらいが海外からの留学生たちです。講義形式だけでなく、架空事例を通じて、自分たちがその現場で行いたいプロジェクトについてグループワークをしてプレゼンをしたり、国際的な問題について短いプレゼンをしたりします。さまざまな国から来ている学生がいるからこそ得られる新しい視点があったり、英語で話すことに対して抵抗がなくなったり視野が広がったりと、とても刺激的で毎回楽しい授業です。農工大ではこのように留学生と合同で受講できる授業が開講されるのも特徴の一つだと思います。

また、金曜の3限からの時間では、不定期で農場実習が行われます。後期の実習ではおもに、前期に植えた作物の収穫や乳牛管理などを行います。この前の実習ではさつまいもの収穫をしました♡さらに、土日などをつかった学外での実習もあります。私は前期の実習で長野県の農家さんに一泊二日でお世話になり、作物の収穫をしたり、農村振興について学ばせていただいたりしました。後期では、多摩川流域に行って野生動物について学んだり、里山管理について現場で学んだりさせてもらう予定です。

このように実際に農場にでたりフィールドに足をはこんで実習をしたりと、自分で体験する機会が多く現場の視点を獲得できる機会があるのも地域生態システム学科の良いところだと思います。

	月	火	水	木	金
1	Pragraph Writing	生態・進化学	日本国憲法	地学	動物福祉論
2	物理化学		水資源管理論	動物・植物科学	English Discussion
3	物理学実験	生涯スポーツ実技	微分積分学	生物多様性保全学	農場実習
4		地域社会システム計画論	International Cooperation Studies	フランス語	
5		地域生態システム学II		異文化理解のためのフランス語	
6				道徳教育論	教育課程論

1限 8:45~10:15 2限 10:30~12:00 3限 13:00~14:30 4限 14:45~16:15 5限 16:30~18:00 6限 18:15~19: